

的に検討していく。

高齢ドライバーの安全対策について



伊藤 房代 議員



小・中学校へのエアコン設置について

問 ペダル踏み間違い事故における運転者の死亡率は、他の一般的な交通事故に比べて10倍以上も高いことが分かっている。

この事実は、踏み間違い事故が単なる操作ミスではなく、生命に関わる極めて危険な事故であることを明確に示している。旭市でも、高齢ドライバーの安全運転を支援する後付け踏み間違い防止装置設置への補助はできないか伺う。

答 踏み間違い防止装置は、高齢者によるアクセルとブレーキの踏み間違い事故の防止に一定の効果を発揮するものと認識されており、令和10年9月以降の新型乗用車には搭載が義務づけられることとなつた。後付け踏み間違い防止装置の取り付けに係る費用の補助については、現在のところ、千葉県内では銚子市のみが行つているほか、茨城県守谷市やつくばみらい市などが実施している。費用の補助については、実施中の自治体の補助実績を基に必要性を検討したい。

○投票率向上について

その他の質問事項

小学校については、令和9年4月の開校に向けた大規模改修工事に併せて、中学校と同様に令和8年度中には空調設備を設置する予定。そのほかの小学校についても、積極

第3期旭市総合戦略の地域福祉の充実について



松木源太郎 議員



旭市の職員の労働環境並びに労働条件について

問 所に新築する方針。地域検討会議を設置し、新設場所の候補地についても意見を伺っている。

問 計画最終年度までにどのような状態にしようとしているのか。市の生活保護受給率が全

国、県と比較して低いのは、低所得者が少ないので、拾えていないのか調査する必要がある。

答 生活保護業務は国からの受託業務で、基本的に市町村で業務内容の違いはない。制度を適切に実施した結果である。

問 福祉の手が届かない問題が旭市では起こっている。このような問題に目を向けた計画にしてもらいたい。市長の考えは。

答 私が職員に言つているのは、もう市役所の中だけで我々の仕事は完結しない、まちへ出て市民と一緒にまちづくりをしようといつも話をしている。

学校再編の進捗状況について

問 (仮称)北統合中学校の予定地はどうなっているのか。

答 多くの職員がハラスメントの研修を受講しているのか。

答 パーセントとしては、今100%を目指すべき。

小学校については、令和9年4月の開校に向けた大規模改修工事に併せて、中学校と同様に令和8年

度中には空調設備を設置する予定。

そのほかの小学校についても、積極



伊藤 房代 議員



答 根絶に向けた機運を醸成できるような研修を計画し、受講させている。

答 パーセントとしては、今100%を目指すべき。

はつきりとした数字は持ち合っていない。